

拝啓 今年も早や8月下旬、暑い夏でしたが、最近は秋の訪れのような涼しい日になることがあります。皆様いかがお過ごしでしょうか。

いつもエンカウンターお読みいただきありがとうございます。近所の公園では、さるすべりやむくげがそろそろ終わりです。私は6月30日でつとめを一切終り、時間があるときは図書館に出かけ、『南原繁の生涯』の仕上げに取り組んでいます。

今月は、『ミス・ローラ・J・モーク その信仰と生涯』(4)をお送りします。私はモーク先生にはお会いしたことがなく、本の上でしか存じあげないのですが、今月号に一瀬智司さんが、モーク先生の後任で来られたエルマー先生によってモーク先生を偲ぶことが出来ると書いておられます。私はエルマー先生のバイブルクラスに1年だけ通いました。キリストの香りがするすばらしい先生でした。エルマー先生は、日本を去られるとき、20ページほどの小冊子を記念に下さいましたが、その小冊子の言葉を写し送ることからこの「エンカウンター」は始まりました。

8月5日から7日まで、本誌読者の佐藤昭夫さんと、八ガ岳の縦走登山をしてきました。第1日は、茅野からタクシーで麦草峠まで行き、丸山、天狗岳を経て、根石小屋泊まり、ここは山小屋なのにお風呂がありました。第2日は、横岳、硫黄岳を越えて、赤岳の頂上小屋泊まり、第3日は赤岳頂上からキレットを下り権現岳を登り、編笠山は雷が来たので山小屋の人の忠告に従い巻き道を行き、観音平まで歩きました。硫黄岳、赤岳の下り、権現岳には、鎖場やはしごが多くあり、結構ハードな山行でしたが、無事下山することが出来ました。4度目の縦走でしたが脚力の衰えを感じましたので、これからは一日の歩程は、5時間ぐらいにおさえることにしようと思いました。昔うつ病の時、主治医の先生が山が好きで話が合い「山に行けば生きていてよかったと思うでしょう」と言われた事をおぼえています。本当にそのとおりだと思いました。

息子がデジタルテレビをくれて、ビデオ・デッキを取り付けてくれたので、家にいるときの昼食時間とか休憩時間に、短い時間ビデオを見ています。一つは、昔テレビ番組から録画していた「女医・神谷美恵子」のビデオを見ました。先日穂高町の集会で神谷美恵子さんの次男の徹さんと短い時間はなしたので見たのですが、一所懸命生きて来られたお姿に胸を打たれました。41歳の時、子宮癌になられあとわずかのいのちと宣告され、口惜しい涙を流したことがあり、その後あの時の悔しい思いをしたくないと日記に書いておられました。秋が目の前までやって参りました。お身体御自愛下さい。

平成23年8月25日

山口周三

エンカウターの読者各位